

第66回（平成24年度）  
社団法人 福島県放射線技師会総会資料

期 日 平成24年5月19日（土）13:30～18:00

会 場 郡山ユラックス熱海

郡山市熱海町熱海2丁目184-2

TEL 024-984-2800

プログラム

平成24年5月19日（土）

13:30 受付

14:00 開会

14:10 学術委員会分科会及び部会活動報告

15:15 開場 一般公開講演

15:30 特別講演 「臓器移植の現状」

講師：社団法人日本臓器移植ネットワーク

東日本支部東北連絡所 上野秋花先生

16:45 総会

総会資料は総会会場に用意してあります。

# 総会次第

司 会 県南地域

一、開会の辞

副会長 遊佐 烈

二、会長挨拶

会 長 斎藤康雄

三、表 彰

永年勤続（20年・30年・50年）

四、総会運営ならびに資格審査委員選出

五、議長選出

六、議事録署名人選出

七、書記選出

八、資格審査報告

九、議事

第1号議案 平成23年度事業報告について

第2号議案 平成23年度決算報告について

第3号議案 平成23年度監査報告について

第4号議案 平成24年度事業計画案について

第5号議案 平成24年度予算案について

第6号議案 その他

十、議長・書記解任挨拶

十一、閉会の辞

副会長 遊佐 烈

### 三、平成24年度表彰者名簿

1. 社団法人日本放射線技師会 永年勤続（50年）  
佐藤 知好 （財）福島県労働保健センター  
高田 希一
2. 社団法人日本放射線技師会 永年勤続（30年）  
大類 幸悦 （財）大原総合病院 （県北）  
舟生 晴雄 （財）済世会松村総合病院 （浜通）  
天野 努 小名浜生協病院 （浜通）  
佐藤 二郎 （財）福島県保健衛生協会 （浜通）  
田中 邦夫 いわき市立総合磐城共立病院 （浜通）  
草野 義直 いわき市立総合磐城共立病院 （浜通）  
目黒 昭夫 県立会津総合病院 （会津）
3. 社団法人福島県放射線技師会 永年勤続（20年）  
県北地域  
石田 篤史 福島県保健衛生協会  
県南地域  
続橋 順市 星総合病院  
安藤 善仁 太田総合病院附属太田西ノ内病院  
会津地域  
千葉 雄二 福島県保健衛生協会会津地区センター  
穴澤 明弘 坂下厚生総合病院  
小松 一文 会津中央病院  
岩井 秀憲 県立南会津病院  
足利 広行 竹田総合病院  
浜通地域  
水野 孝 大河内記念病院  
佐々木亮浩 福島労災病院  
久米本裕樹 南相馬市立総合病院  
外山 慎 福島県保健衛生協会相双地区センター
4. 学術奨励賞
  - ①平成22年度学術奨励賞
    - ・「TRANCE法における最適撮像条件の検討  
JA福島厚生連 坂下厚生総合病院 城戸 修
    - ・「IVR検査におけるスタッフの被ばく低減及び意識改善 第2報」  
JA福島厚生連 白河厚生総合病院 我妻真一
  - ②シネ研学術奨励賞  
該当者無し

#### 四、総会運営ならびに資格審査委員選出

4名 (	)	県南地域
(	)	県北地域
(	)	会津地域
(	)	浜通地域

#### 五、議長選出

2名 (	)	県南地域
(	)	県北地域

#### 六、議事録署名人

2名 (	)	県南地域
(	)	県南地域

#### 七、書記選任

2名 (	)	県南地域
(	)	県南地域

#### 八、資格審査報告

定款24条（定足数）

会議は、総会においては正会員総数の過半数以上、理事会においては理事現在数の3分の2以上の出席がなければ開会することができない。

正会員数	名
委任状出席者数	名
総会出席者数	名

# 第1号議案 平成23年度事業経過報告

## 総括

平成23年3月11日に発生した東日本大震災は、県内に甚大な被害を及ぼした。特に浜通り地方は壊滅的な被害を受け、地震、津波に加え原子力発電所の事故という未曾有の事態になった。平成23年度総会は、会場に予定していたいわき市の新舞子ハイツが被災で使用できなくなり、急遽郡山市熱海町の郡山ユラックス熱海に会場を移し予定通り行われた。役員改選の年であったが、東日本大震災直後という非常事態でもあることから、現役員は全員留任になった。

被災者や住民に対するスクリーニング活動は年度が明けても続いた。本県会員を始め、全国から募られたボランティアの日本放射線技師会会員がスクリーニング要員として派遣された。避難者等のスクリーニング活動や各職場での会員の活躍は、現地からの報告として、県内外の学術大会や講演等で広く伝えられたが、千年に一度の大震災、そして原発事故と歴史的な出来事に遭遇した者として、この体験をきちんと記録に残し、後世に伝えることは今その任に携わっている者の勤めであると考え、起こった事実とそれぞれの立場での貴重な体験を皆さんに執筆していただき、それらと科学的な裏付けとして研究された発表演題とを、会報を特集号として掲載した。これは、言わば福島県放射線技師会の財産であるとも言える。また、被災に対し多くの県の技師会から義援金もいただいた。全国からいただいた多大なる支援にこの場をお借りして改めて深謝申し上げる。

被災者に対する県技師会の支援として会費免除規定を改正した。従来からあった会費免除規程に加え、震災の被害や、津波・原発事故による避難者を救済する項目を追加し、申請による該当者の会費を免除した。

社会に対する貢献として原発事故での避難者のスクリーニング活動や放射性物質の飛散による被ばくの住民に対するレクチャーや相談など、県民に対する安心安全を確保する活動で診療放射線技師の社会貢献が評価されたが、その活動の最中、7月16日に現職の鈴木憲二会長が、震災原発事故対応の心労で体調を崩し急逝された。福島県放射線技師会のみならず日本放射線技師会にとっても大きな衝撃を与えた。福島県放射線技師会は突然リーダーを失い一時立ち止まった。役員・会員が一丸となって危機を乗り越えるべく前進した結果、上半期は会場が被災している等で計画通りには進まなかったが、後半に入り限られた時間の中、各分科会等が精力的に事業に取り組みまれて、例年に劣らない内容で概ねの事業が執行された。

継続していた公益社団法人移行は、県との折衝を重ねて取り組んだものの、その後県当局から、申請してから時間が経ち複数年度に及んだため書類が複雑になっていて審査も通りにくくなっているの、一旦取り下げて来年度に再申請したらどうかとの指導があり、理事会で検討・協議した結果、一旦取り下げて、改めて平成24年度に再申請することにした。ご理解をお願いしたい。

多くの施設が、そして個人が東日本大震災で何らかの被災を受けたにも関わらず、本会の事業遂行に際し多大なるご協力をいただいたことに感謝申し上げ総括とする。

## 会務報告

月 日	活動内容	開催地
2011年 4月11日～14日	日本放射線技師会遺体検案前スクリーニング参加 (嶋田・花井・久米本)	浪江津島中学校・南相馬スポーツ センター・相馬アルプス電気
4月16日	第1回浜通り地域役員会	総合磐城共立病院会議室
4月16日	第59回浜通り地域総会	総合磐城共立病院会議室
4月16日	第2回浜通り地域役員会	総合磐城共立病院会議室
4月20日	平成22年度福島県放射線技師会第5回理事会	福島医科大学 放射線部
4月20日	平成22年度福島県放射線技師会会計監査	福島医科大学 放射線部
4月22日	県北地域理事会	福島県保健衛生協会会議室
4月23日	平成23年度会津地域総会	ホテル ニューパレス
4月29日	春の叙勲 吉田 豊氏瑞宝双光章受章	
5月12日	平成23年度県北地域総会	済生会福島総合病院 会議室
5月13日	平成23年度県南地域総会	ビッグアイ
5月21日	社団法人福島県放射線技師会総会	郡山ユラックス熱海会議室
5月22日	放射線治療分科会	南東北がん陽子線治療センター
5月26日	第1回 会津乳房撮影研究会	会津中央病院 乳房撮影室
6月3日	平成23年度福島県放射線技師会第1回理事会	福島県立医科大学附属病院
6月4日～8日	日本放射線技師会遺体検案前スクリーニング参加 (古内孝紀)	南相馬市スポーツセンター
6月11日	第70回日本放射線技師会定期総会(代議員、遊佐、 齋藤、今野、佐藤政春)	科学技術館サイエンスホール
6月18日	福島県放射線技師会合同委員会	福島県立医科大学附属病院
6月21日	第1回県南地域理事会	ビッグアイ
6月23日	第1回会津地域理事会	竹田総合病院会議室
7月10日	市民公開講座「放射能・放射線について」	コラッセふくしま
7月14日	画像診断・病診連携懇話会	辰巳屋ホテル
7月19日	鈴木会長告别式(7月16日逝去)	たまのや 黒岩斎苑
7月29日	第35回会津MR I研究会	山鹿クリニック 会議室
7月30日	県南地域サマーセミナー	ビッグアイ
8月19日	第4回医療情報通信技術セミナー(MICS)	ビッグアイ
8月26日	平成23年度福島県放射線技師会第2回理事会	福島県立医科大学附属病院
8月30日	第13回いわき地区画像研究会勉強会	いわき市立総合保健福祉センター
9月1日	第14回いわき地区画像研究会勉強会	総合磐城共立病院 会議室
9月3日	市民フォーラム 救急医療・いわき2011	いわき市総合保健福祉センター
9月4日	日本放射線技師会会長会議(遊佐副会長・片倉監事)	盛岡市
9月9日	福島県MR I技術研究会世話人会	福島県立医科大学附属病院
9月16日～18日	第27回診療放射線技師総合学術大会 被災報告(遊佐副会長・嶋田理事他)	青森市文化会館
9月17日	全国会長会議(齋藤副会長)	青森市文化会館
10月2日	福島市健康フェスタ2011	福島市保健福祉センター
10月8日	第5回医療情報通信技術セミナー(MICS)	ビッグアイ
10月10日	市民公開講座「2011 いわき乳腺フォーラム」	いわき市総合保健福祉センター
10月11日	名誉会員 伊藤尚治氏告别式	
10月12日	福島県「緊急被ばく医療初級講座」	福島県医師会館

10月13日	第34回全国公立大学病院放射線業務連絡協議会で被災報告(遊佐副会長)	名古屋市立大学病院
10月14日	第2回東北地域会長会議(齋藤副会長)	岩手県民情報交流センター
10月15日~16日	第1回東北放射線医療技術学術大会	岩手県民情報交流センター
10月18日	第15回いわき地区画像研究会勉強会	いわき市総合保健福祉センター
10月22日	第11回県北MDCTカンファランス	サンルートプラザ福島
10月23日	ピンクリボン in 郡山2011	ビッグアイ
10月24日	鈴木会長死後叙勲伝達(遊佐副会長)	
10月25日	福島市健康フェスタ	保健福祉センター
10月28日	第39回日本放射線技術学会秋期学術大会で被災報告(遊佐副会長)	神戸市
11月6日	福島県放射線技師学術大会	福島医科大学 講堂
11月12日	第4回中部放射線医療技術学術大会で被災報告(遊佐副会長)	富山市
11月12日	平成23年度福島県自治体病院学会	会津若松ワシントンホテル
11月18日	いわき地区画像研究会	いわき市総合保健福祉センター
11月22日	第10回 会津肝胆膵画像研究会	会津若松ワシントンホテル
11月24日	平成23年度福島県放射線技師会第3回理事会	福島県立医科大学附属病院
11月26日	中四国放射線医療技術フォーラム2011で被災報告(遊佐副会長)	米子市
11月27日	保健・福祉フェスティバル郡山 ファミリーフェスタ2011	郡山市カルチャーパーク
11月27日	福島県フレッシュヤーズセミナー	総合南東北病院 会議室
11月29日	第2回県南地域理事会	ビックアイ 会議室
12月5日	第2回地域理事会	竹田綜合病院
12月10日	第6回医療情報通信技術(MICS)セミナー	ビックアイ 会議室
12月10日	ネットワーク委員会開催	郡山地域職業訓練センター
12月11日	第71回日本放射線技師会臨時総会(遊佐副会長、齋藤副会長、今野理事、白川理事、佐藤政春理事)	笹川記念会館交際ホール
12月15日	第36回会津MRI研究会	山鹿クリニック
12月22日	平成24年度知事表彰申請	
12月23日	日本放射線技師会災害対策委員会(遊佐副会長)	日本放射線技師会本部
2012年1月5日	平成23年度特例民法法人概況調査書を県に提出	
1月5日	平成24年度厚生労働大臣表彰候補者申請	
1月13日	東北地域会長会議・教育委員会(齋藤・堀江)	盛岡市 ホテルルイズ
1月14日	第19回福島県画像技術研究会	福島テルサ
1月14日	社団法人福島県放射線技師会臨時総会	福島テルサ
1月21日~22日	福島県生活習慣病従事者指導講習会及び第24回消化器研究会	清陵山倶楽部
1月22日	放射線治療分科会	南東北がん陽子線治療センター
1月25日~26日	第1回福島WBC会議	福島県立医科大学
1月27日	第39回全国国立大学診療放射線技師長会で被災報告(遊佐副会長)	高崎市
1月27日	第77回会津画像研究会	山鹿クリニック 会議室
1月28日	県南地域新年勉強会	公立岩瀬病院

2月18日	福島県放射線技師学術講演会	ホテルサンルートプラザ福島
2月19日	ピンクリボン in 郡山 2012 市民公開講座	ビックアイ
2月22日	東北地域会長会議 (片倉・齋藤)	ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング
2月25日	第11回福島県MRI技術研究会	福島テルサ
3月2日	平成23年度福島県放射線技師会第4回理事会	福島県立医科大学附属病院
3月6日	第3回会津地域理事会	山鹿クリニック会議室
3月8日	県北地域理事会	福島県保健衛生協会
3月9日	第7回医療情報通信技術(MICS)セミナー	ビックアイ 会議室
3月10日	第1回福島医療の質・安全フォーラム	福島県看護協会会館みらい
3月10日	放射線と健康の講演会 (遊佐副会長)	大蔵入交流館 南会津町田島
3月11日	福島県「緊急被ばく医療基礎講座I(除染・搬送コース)」	福島県立医科大学附属病院
3月13日	第78回会津画像研究会	山鹿クリニック 会議室
3月25日	放射線治療分科会	南東北がん陽子線治療センター

1. 平成23年度社団法人福島県放射線技師会総会

開催日 平成23年5月21日(土)～22日(日)

場所 「郡山ユラックス熱海」 郡山市

会員総数633名中467名(内委任状402名)の出席で開催された。提案された議題は全て原案通り可決された。

一般公開講座

特別講演 「死亡時画像病理診断(Ai)について」

講師 国際医療福祉大学 保健医療学部

放射線・情報科学科 樋口清孝 先生

2. 福島県放射線技師学会大会の開催

開催日 平成23年11月6日(日)

場所 福島県立医科大学講堂

参加者 会員162名 一般公開講座30名

プログラム

①一般公開講座

特別企画 「震災時に放射線技師はどう対応したか」

「放射線管理士としての活動 県南地区」

星総合病院 佐久間守雄

「スクリーニング活動 会津地区」

県立会津総合病院 渡部育夫

「スクリーニング・除染活動支援」

福島県立医科大学附属病院 遊佐 烈

「スクリーニング活動 総括」

坪井病院 斎藤康雄

②研究発表 7セッション 27演題の発表があった。

③ランチョンセミナー 「MRI 検査の実践」

講師 岐阜厚生連揖厚生病院放射線科技師長 丹羽政美先生

3. 福島県生活習慣病従事者指導講習会(消化器研究会と合同開催)

開催日 平成22年9月4日(土)

場所 清陵山倶楽部 (郡山市熱海)

参加者 会員36名。

今年度は胃がん検診従事者研修会を福島県の委託事業として実施した。

プログラム

1月21日(土)

①教育講演1 「バリウム造影剤とDR装置の基礎的概念について」

講師 堺化学工業株式会社

山本淳二氏

共成製薬株式会社

成田光洋氏

②教育講演2「消化管検査の被ばく線量に関する

意識の向上を目指して」

講師 東松山市立病院放射線科副主幹 工藤安幸先生

③特別講演「診療放射線技師に望む

胃がん検診から精密検査までの読影の補助」

講師 東京都がん検診センター消化器内科部長 入口陽介先生

1月22日(日)

①消化器撮影分科会活動に関する討論会

4. 原子力防災関連事業

(1) 福島県「緊急被ばく医療初級講座」への参加

開催日 平成23年10月12日

場 所 福島県医師会館 参加者 会員13名

(2) 福島県「緊急被ばく医療基礎講座I(除染・搬送コース)」

開催日 平成24年3月11日

場 所 福島県立医科大学附属病院 参加者 会員11名

5. 第27回全国診療放射線技師総合学術大会

及び第18回東アジア学術交流大会

開催日 平成23年9月16日～18日

場 所 青森市民文化会館・ホテル青森

内 容 シンポジストとして遊佐副会長、嶋田理事が原発事故発生時の対応を報告し、他に本県会員から原発事故関連5題の発表があった。日本放射線技師会永年勤続30年を会員9名が受賞した。本県からの発表演題数 6題 参加者 31名

6. 第1回東北放射線医療技術学術大会

開催日 平成23年10月15日～16日

場 所 いわて県民情報交流センター(アイーナ)

内 容 本県からの発表演題数16題 参加者 35名

7. フレッシュアップセミナーの開催

開催日 平成23年11月27日

場 所 (財)総合南東北病院大講堂

参加者 38名(内新人15名)

内 容 新人放射線技師を対象として、医療者として必要な医療安全学、医療感染学、エチケット・マナー及び、診療放射線技師として知っておくべき基礎知識を習得した。

## 8. 分科会・研究会および部会の活動

### (1) 放射線治療分科会

福島県放射線治療研究会 平成 23 年 01 月 22 日 (南東北がん陽子線治療センター)  
平成 23 年 05 月 22 日 (南東北がん陽子線治療センター)  
平成 24 年 03 月 25 日 (南東北がん陽子線治療センター)

### (2) 消化器撮影分科会

福島県消化器撮影研究会 平成 24 年 01 月 21 日 (清陵山倶楽部)

### (3) MR I 分科会

福島県MR I 技術研究会 平成 24 年 02 月 25 日 (福島テルサ)

### (4) CT分科会

福島県画像技術研究会 平成 24 年 01 月 14 日 (福島テルサ)

### (5) 福島県放射線管理士部会

緊急被ばく医療講習会への参加

- ①福島県「緊急被ばく医療初級講座」平成 23 年 10 月 12 日 (福島県医師会館)  
(参加者 6 名)
- ②福島県「緊急被ばく医療基礎講座 I (除染・搬送コース)」  
(会員参加者 11 名) 平成 24 年 03 月 11 日 (福島県立医科大学附属病院)

## 9. 放射線利用に関する啓発活動

- (1) いわき市健康祭り 平成 22 年 09 月 04 日
- (2) 福島市「健康フェスタ」 平成 23 年 10 月 25 日
- (3) 郡山市「健康・福祉フェスティバル」 平成 23 年 12 月 27 日
- (4) ピンクリボン in 郡山 2012 平成 24 年 02 月 18 日

## 10. 放射能・放射線を正しく理解するための市民公開講座を共催

「身体の放射線・放射線の影響について考えよう」

開催日 平成 23 年 7 月 10 日

場 所 コラッセふくしま 参加人数 一般市民 540 名

## 11. 放射線被ばく相談

日本放射線技師会被ばく相談担当者

嶋田峻二、佐藤靖芳、佐藤政春、今野広一、白川義廣

## 12. 各委員会活動

### (1) 総務企画委員会

会員数の増員を目指す広報活動及び調査活動 (各種講習会の企画)

### (2) 学術委員会

- ①福島県放射線技師学術大会 各種研修会の開催など
- ②福島県放射線技師学術大会プログラム・抄録のホームページへの掲載

- (3) 広報編集委員会  
ニュース・会報の発行（13ページ参照）
- (4) 精度管理委員会  
「各施設における放射線測定器についての実態調査」を、アンケート調査により実施した。平成24年度に解析を行い報告する。
- (5) 調査委員会  
「会員の本会に対する意識」をテーマに、アンケート内容を検討し調査用紙を作成した。
- (6) ネットワーク委員会
  - ①福島県放射線技師会のホームページの更新
  - ②理事会専用メーリングリストを立ち上げた。
  - ③ホスティングサービス・メーリングリストサービス・メルマガ発行会社の検討
  - ④新しいHPの構築作業
  - ⑤HP作成ソフトをデジタルステージ「バインド5 スタンダード版」に決定し購入した。
- (7) 財務委員会
  - ①今年度会費納入率は84%であった。
  - ②会費納入遅延者及び未納者への対応
- (8) 生涯教育委員会
  - ①アドバンスド放射線技師格取得のための啓発活動。
    - ・X線CT認定技師講習会の協力
  - ②生涯学習システムの各種認定更新カウント取得の啓発
    - ・生涯学習システムへの日放技ポイント登録のためのフォーマットの作成および申請手順の決定
  - ③フレッシュャーズセミナー開催
  - ④日本放射線技師会教育委員会東北地域幹事会への参加

### 1.3. 市町村健康事業への参加

- (1) 「市民フォーラム 救急医療・いわき2011」
  - 開催日 平成23年9月3日
  - 場 所 いわき市総合保健福祉センター
  - 来場者 220名 本会スタッフ3名
- (2) 福島市健康フェスタ2010
  - 開催日 平成23年10月2日
  - 場 所 福島市保健福祉センター
  - 来場者 約200名 本会スタッフ 7名
- (3) 市民公開講座「2011 いわき乳腺疾患フォーラム」
  - 開催日 平成23年10月10日
  - 場 所 いわき市総合保健福祉センター

- 来場者 150名 本会スタッフ 2名
- (4) 保健・福祉フェスティバル「郡山ファミリーフェスタ2011」  
開催日 平成22年11月27日  
会場 郡山市 カルチャーパーク・カルチャーセンター  
本会ブース来場者：150名程度 本会スタッフ：5名

#### 14. 他事業への参加

- (1) 画像診断・病診連携懇話会  
開催日 平成23年7月14日  
場所 辰巳屋ホテル 参加者43名（内会員 38名）
- (2) ピンクリボンin郡山2011  
開催日 平成23年10月23日  
会場 郡山市 ビッグアイ、中町夢通り  
来場者：995名 本会スタッフ：5名
- (3) ピンクリボンin郡山2012  
市民公開講座「放射線被ばくを考えるー福島県の現状と未来ー」  
開催日 平成24年2月19日  
会場 ビッグアイ 参加者 一般市民148名
- (4) メディカルクリエーションふくしま2011  
開催日 平成24年2月21日～22日  
場所 日本大学工学部（郡山市）
- (5) 放射線と健康の講演会  
開催日 平成24年3月10日  
場所 御蔵入交流館（南会津町田島）  
来場者 一般町民 30名  
内容 第1部で放射線の影響について遊佐副会長が講演
- (6) 第1回福島医療の質・安全フォーラム  
開催日 平成24年3月10日  
場所 看護協会会館みらい（郡山市）  
参加者 186名（内会員 4名）

#### 15. ニュース・会報の発行

- (1) 平成23年度（社）福島県放射線技師会ニュース
- |      |       |          |          |            |
|------|-------|----------|----------|------------|
| 126号 | 平成23年 | 6月10日発行  | 巻頭言遊佐副会長 | 担当県北地域（池田） |
| 127号 | 平成23年 | 8月25日発行  | 巻頭言齋藤副会長 | 担当浜通地域（村上） |
| 128号 | 平成23年 | 11月10日発行 | 巻頭言遊佐副会長 | 担当浜通地域（今野） |
| 129号 | 平成24年 | 1月10日発行  | 巻頭言齋藤副会長 | 担当県南地域（本間） |
| 130号 | 平成24年 | 3月31日発行  | 巻頭言遊佐副会長 | 担当県北地域（池田） |
- (2) 会報の発行（東日本大震災特集号）平成24年 3月 第48号

16. 庶務報告

正会員数	平成23年度当初	633名
	平成23年度末	622名
	入会（転入含む）	23名
	退会（転出含む）	34名
名誉会員数		10名
賛助会員数		26社

以上

## 第2号議案 平成23年度 決算報告

平成23年度決算書 (収入の部)

平成23年4月1日～平成24年3月31日

勘定科目 款 項目	予 算	決 算	差 額	備 考
特定資産運用益	5,000	44,703	-39,703	
特定資産受取利息	5,000	44,703	-39,703	
受取会費	6,660,000	6,200,000	460,000	
正会員受取会費	5,850,000	5,480,000	370,000	* 1
賛助会員受取会費	810,000	720,000	90,000	H23年度(24社)
事業収入	1,450,000	940,867	509,133	
出版広報事業広告収益	150,000	150,000	0	会報、抄録集広告
学術研修事業広告収益	400,000	420,000	-20,000	
研修事業収益	800,000	298,267	501,733	学術講演会
日放技業務委託分担金	100,000	72,600	27,400	
受取補助金等	120,000	217,200	-97,200	
受取福島県助成金	120,000	217,200	-97,200	
受取寄付金	10,000	100,000	-90,000	吉田 豊氏より
雑収益	3,000	1,030,583	-1,027,583	
受取利息	2,000	872	1,128	
雑収入	1,000	1,029,711	-1,028,711	
繰入金	10,000	300,009	-290,009	
特定資産振替額	10,000	¥300,009	-290,009	減価償却積立金
預り金	0	1,890,000	-1,890,000	
当期収入合計(A)	8,258,000	10,723,362	-2,465,362	
前期繰越収支差額	5,364,823	5,364,823	0	
収入合計(B)	13,622,823	16,088,185	-2,465,362	

* 1	会員	526	¥10,000	¥5,260,000
	終身	2	¥10,000	¥20,000
	新人	20	¥10,000	¥200,000
		548		¥5,480,000

平成23年度 決算書 (支出の部)

平成23年4月1日～平成24年3月31日

勘定科目	予算	決算	差額	備考
<b>款 項</b>				
<b>事業費</b>	<b>7,870,000</b>	<b>5,334,553</b>	<b>2,535,447</b>	
<b>学術研修事業費</b>	<b>3,700,000</b>	<b>1,576,369</b>	<b>2,123,631</b>	
学術発表開催費	1,300,000	804,127	495,873	福島県放射線技師学術大会
生活習慣病従事者講習	1,200,000	277,267	922,733	
学術委員会専門分科会	500,000	140,000	360,000	分科会助成金
学術研修費	700,000	354,975	345,025	フレッシューズセミナー
<b>出版広報事業費</b>	<b>950,000</b>	<b>963,869</b>	<b>-13,869</b>	
会報	500,000	557,764	-57,764	会報48号
ニュース	300,000	266,175	33,825	放技ニュース126～130号
通信運搬費	150,000	139,930	10,070	会報・ニュース発送料
<b>啓蒙普及事業費</b>	<b>3,100,000</b>	<b>2,672,015</b>	<b>427,985</b>	
放射線相談コーナー	500,000	27,000	473,000	健康フェスタ
パンフ・パネル展	300,000	44,000	256,000	
一般講演会	100,000	25,000	75,000	講演会講師謝礼等
調査指導費	600,000	87,740	512,260	調査委員会
災害教育訓練費	200,000	115,935	84,065	動産保険料・GM管修理
ホームページ維持費	600,000	79,640	520,360	インターネット接続料
原子力災害対策費	600,000	2,188,200	-1,588,200	サーベイメータ購入
広報・広告費	200,000	104,500	95,500	新聞広告等
<b>分担金</b>	<b>120,000</b>	<b>122,300</b>	<b>-2,300</b>	
東北地区技師会	120,000	122,300	-2,300	会員数×200円
<b>管理費</b>	<b>4,200,000</b>	<b>3,034,900</b>	<b>1,165,100</b>	
<b>人件費</b>	<b>500,000</b>	<b>409,000</b>	<b>91,000</b>	
給与	500,000	409,000	91,000	公認会計費用・臨時雇用費等
<b>福利厚生費</b>	<b>200,000</b>	<b>323,643</b>	<b>-123,643</b>	
厚生費	200,000	323,643	-123,643	弔電・香典・花環等
<b>会議費</b>	<b>750,000</b>	<b>830,028</b>	<b>-80,028</b>	
総会費	600,000	734,688	-134,688	会場使用料・表彰費等
理事会費	100,000	85,395	14,605	
委員会費	50,000	9,945	40,055	
<b>旅費交通費</b>	<b>1,650,000</b>	<b>900,180</b>	<b>749,820</b>	
理事会旅費	600,000	502,580	97,420	
役員旅費	250,000	11,020	238,980	
委員会旅費	800,000	386,580	413,420	
<b>需用費</b>	<b>1,000,000</b>	<b>530,470</b>	<b>469,530</b>	
事務消耗品費	300,000	357,714	-57,714	
通信運搬費	250,000	90,676	159,324	
什器備品費	300,000	0	300,000	
雑費	150,000	82,080	67,920	
<b>その他管理費</b>	<b>100,000</b>	<b>41,579</b>	<b>58,421</b>	
事務所管理費	100,000	41,579	58,421	
<b>特定預金支出</b>	<b>950,000</b>	<b>1,042,107</b>	<b>-92,107</b>	
事務所拡充積立金	800,000	863,582	-63,582	
学術奨励積立金	0	156,591	-156,591	
減価償却積立金	150,000	21,934	128,066	
学術奨励基金	0	0	0	
<b>預り金</b>	<b>0</b>	<b>1,890,000</b>	<b>-1,890,000</b>	
<b>備品取得支出</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
<b>予備費</b>	<b>602,823</b>		<b>602,823</b>	
<b>当期支出合計 (C)</b>	<b>13,622,823</b>	<b>11,301,560</b>	<b>2,321,263</b>	
<b>当期収支差額 (A) - (C)</b>	<b>-5,364,823</b>	<b>-578,198</b>	<b>-4,786,625</b>	

当期収入合計 (A)	10,723,362		
前期繰越収支差額	5,364,823	収支差額 (B) - (C)	4,786,625
収入合計 (B)	16,088,185		
		単年度収支差額 (A) - (C)	-578,198
当期支出合計 (C)	11,301,560		

## 平成23年度積立金会計報告

### 事務所拡充積立金（定期預金）

平成23年4月1日～平成24年3月31日

科目	予算	決算	差額	備考
収入の部	¥12,577,718	¥12,629,862	¥52,144	
前期繰越収支差額	¥11,757,718	¥11,757,718	¥0	
繰出金収入	¥800,000	¥863,582	¥63,582	
寄付金収入	¥0		¥0	
雑収入	¥20,000	¥8,562	¥11,438	
支出の部	¥0	¥29,862	¥29,862	
繰入金支出	¥0	¥29,862	¥29,862	
積立金残高	¥12,577,718	¥12,600,000	¥22,282	

### 学術奨励金積立金（定期預金）

科目	予算	決算	差額	備考
収入の部	¥2,561,855	¥2,712,544	¥150,689	
前期繰越収支差額	¥2,555,855	¥2,555,855	¥0	
繰出金収入	¥0	¥56,591	¥56,591	
寄付金収入	¥0	¥100,000	¥100,000	吉田豊氏より
雑収入	¥6,000	¥98	¥5,902	
支出の部	¥0	¥12,544	¥12,544	
繰入金支出	¥0	¥12,544	¥12,544	
積立金残高	¥2,561,855	¥2,700,000	¥138,145	

### 減価償却積立金（定期預金）

科目	予算	決算	差額	備考
収入の部	¥1,154,972	¥1,022,364	¥132,608	
前期繰越収支差額	¥999,972	¥999,972	¥0	
繰出金収入	¥150,000	¥21,934	¥128,066	
寄付金収入	¥0		¥0	
雑収入	¥5,000	¥458	¥4,542	
支出の部	¥0	¥301,730	¥301,730	
繰入金支出	¥0	¥301,730	¥301,730	
積立金残高	¥1,154,972	¥720,634	¥434,338	

### 学術奨励基金（普通貯金）

科目	予算	決算	差額	備考
収入の部	¥221,524	¥221,368	¥156	
前期繰越収支差額	¥221,324	¥221,324	¥0	
繰出金収入	¥0		¥0	
寄付金収入	¥0		¥0	
雑収入	¥200	¥44	¥156	
支出の部	¥0	¥0	¥0	
繰入金支出			¥0	
積立金残高	¥221,524	¥221,368	¥156	

# 第3号議案 平成23年度 監査報告

平成24年 月 日

## 会計監査報告書

(社) 福島県放射線技師会

会長 齋藤康雄 殿

(社) 福島県放射線技師会定款第34条に基づき、平成23年度の監査を実施した結果、各予算の執行は適正に処理されており、預金通帳・領収書・会計帳簿等について正確であることを認めます。

実施期日：平成24年 月 日

実施場所：福島県立医科大学付属病院放射線部技師室

立会者： 齋藤康雄 伊藤陸郎事務局長

阿部郁明会計事務担当者

(社) 福島県放射線技師会

監事 片倉 俊彦 印

外部監事 高橋 宏和 印

## 第4号議案 平成24年度事業計画（案）

### 総括

震災と津波の被災地では医療が崩壊し、とりわけ福島県は原発事故にも見舞われたため、被ばくの危険を感じてこの地を去った医療従事者も少なくない。そのような状況下、自宅や施設が被災し、職場を移らざるを得ない会員もいたが、殆どの会員は県内に止まり復興に取り組み、活躍されているその姿勢には頭が下がる。放射線の取り扱いを生業としている診療放射線技師は、放射線の危険性と有益性の知識を持ち合わせている。今後も県民の安心と安全を守るための行動を継続して行う必要がある。

緊急被ばく医療における避難住民等の汚染スクリーニングでは、放射線の専門職として要請に応じて会員を派遣して高い評価を得たが、今年度は復興元年とも言われているように放射性物質の飛散による汚染の除去・除染に主眼がおかれ、帰宅に必要な対策が取られ始めている。空間線量の測定やWBCによる内部被ばくの測定など、対策は正確な測定から始まることに鑑みて、昨年度の反省から、新たに原発事故災害対策委員会を遊佐副会長を委員長として立ち上げ、リスキミや放射線被ばく相談、WBC装置や各種測定器の精度管理、対応する人材の育成、緊急時の連絡体制の整備など、対応窓口を一本化して取り組んでいくことにする。一人歩きをしている測定値にもきちんと対応できる正確な情報を提供することが安心を享受する手段であると考え、県民に対する放射線の知識や被ばくについての啓発等の公開講座やレクチャーを企画していきたい。また、Naiシンチレーションサーベータを各地域技師会に1台ずつ配置した。市民の要望に応じて正確に環境放射線量を測定するなど、各自治体への働きかけやホームページでの広報などの活動も展開して、より有効に活用する手段を検討しながら県民に寄り添った対応をしていきたい。

県の指導の下、今年1月に臨時総会を開催し定款改正を行い取り組んできた公益社団法人移行は、平成23年度は実現には至らず取り下げという結果になってしまったが、今年度は早急に再申請に取り組み年度内認可取得を目指す所存である。

本来の業務である診療放射線技師としての知識や検査技術の修得も不可欠であり、質の高い医療情報を提供することが、公益法人として県民の負託に応え貢献することになる。その対応として、各分科会企画の研究会や研修会、学術講演会も例年通り行う。また、診療放射線技師の業務拡大に伴う講習会の開催も検討していきたい。

未だ復興の見通しも不確かな浜通り地域は、事故を起こした東京電力福島第一原子力発電所を境に相双地区といわき地区に二分されてしまい、技師会活動にも支障を来している。特に相双地区の活動を各地域技師が垣根を越えて福島県放射線技師会は一つであるという考えの下、不利益が生じないように支援していく。

数は力とも言われている。未入会員の啓発対策として、今年度もフレッシューズセミナーを開催し組織率を上げるとともに、会は会費で運営されていること、会の行事は会員の利益のために行われていることを理解していただき、研修会等への参加と会費の期限内納入にご協力をお願いしたい。

社団法人福島県放射線技師会は、医療の質の向上に貢献するとともに、原発事故の当事県として、その使命を果たすための事業を会員一丸となって取り組んでいく所存である。会員各位のなお一層のご協力をお願いする。

1. 平成24年度総会  
平成24年5月19日（土） 「郡山ユラックス熱海」 郡山市  
一般公開  
特別講演 「臓器移植の現状」  
講師：社団法人日本臓器移植ネットワーク  
東日本支部 東北連絡所 上野秋花先生
2. 福島県放射線技師総合学術大会の開催  
平成24年11月11日（日） 福島県立医科大学講堂
3. 放射能・放射線を正しく理解するための市民公開講座の開催  
日本放射線技術学会・福島県放射線技師会共催  
開催日時 平成24年5月12日  
開催場所 福島医科大学講堂
4. 放射線に関する相談  
日本放射線技師会被ばく相談担当者  
嶋田峻二、佐藤靖芳、佐藤政春、今野広一、白川義廣
5. 各種委員会活動
  - (1) 総務企画委員会
    - ①公益社団法人移行への対応
    - ②会員数の増員を目指す広報活動（フレッシュャーズセミナーの開催等）
    - ③啓発パネルの作成
  - (2) 学術委員会
    - ①福島県放射線技師学術大会の開催
    - ②各種研究会・研修会・講演会の支援活動
    - ③分科会活動報告（福島県放射線技師会総会の時実施）
  - (3) 広報編集委員会  
ニュース・会報の発行
  - (4) 精度管理委員会  
「各施設における放射線測定器についての実態調査」のアンケート調査を実施しました結果を平成24年度に分析を行い、福島県放射線技師会学術大会及び、会報・ホームページで報告する。
  - (5) 調査委員会  
「会員の本会に対する意識」をテーマに前年度に作成した調査用紙を4月に会員に郵送して、6月に回収し集計・分析の後、11月の放射線技師学術大会及び、会報・ホームページで報告する。
  - (6) ネットワーク委員会
    - ①ホームページの更新作業

従来からのホームページの内容について随時更新作業を実施

②会員及び県民に対する情報発信

ホームページを利用した情報の発信、今後稼働させる予定のメールマガジンを利用した情報の発信

③現在のホスティングサービス・メールリングリストの見直し。

現状のホスティングサービス（OCN）とメールリングリスト（ビックローブ）・NEC）のサービス会社統一

④メールマガジンの発行に向けた作業

メールマガジンを発行する際のサービス会社の選定と運用手続きの開始

⑤新しいホームページの開設準備作業

公益社団法人化に向けての技師会ホームページのリニューアル作業

⑥その他ネットワーク関連作業

資料・情報の検索、提供等の作業

(7) 財務委員会

①会費納入12月完納を推進する。

・コンビニでの通年納入が可能になったので広報し納入を促す。

(8) 生涯教育委員会

①アドバンスド放射線技師格取得のための啓発活動

・X線CT認定講習会の福島県での開催

②生涯学習システムの各種認定更新カウント取得の啓発活動

・生涯学習システム（昨年度改訂）への日本放射線技師会ポイント登録のためのフォーマットの作成及び申請手順の決定

③JARTの教育委員を福島県放射線技師会会員の中から養成する。

④放射線管理士、機器管理士、医療画像情報精度管理士の更新手続きの啓発

・医用画像管理士から医療画像情報精度管理士への資格移行措置講習会の開催

⑤フレッシュャーズセミナーの開催

⑥日本放射線技師会教育委員会東北地域幹事会への参加

(9) 原発災害対策委員会（新設）

原発災害対策関連事業を組織化して進める目的で原発災害対策に特化した委員会を立ち上げる。

①リスクコミュニケーション・放射線被ばく等の相談事業

②WBC等、各種測定器・装置の精度管理

③緊急連絡体制の整備

④その他、県民の放射線に対する安心・安全を確保するための事業

6. 緊急被ばく医療防災対策への協力

①緊急被ばく医療講習会への会員派遣

②福島県原子力防災行政への参加協力

7. 胃がん検診従事者研修会の開催

8. 乳がん検診従事者研修会の開催

9. 専門分科会・各種研究会および部会の活動

6分科会（MR I、CT、画像技術、乳腺画像、消化器撮影、放射線治療）、2部会（放射線管理士・放射線機器管理士）

- |                   |                           |
|-------------------|---------------------------|
| (1) 福島県MR I 技術研究会 | 平成 24 年 05 月 26 日 (福島テルサ) |
| (2) CTビギナーズセミナー   | 平成 24 年 06 月 16 日 (福島テルサ) |
| (3) 福島県画像技術研究会    | 平成 24 年 06 月 23 日 (福島テルサ) |
| (4) 福島県デジタル画像研究会  | 平成 24 年 月 日 ( )           |
| (5) 福島県乳腺画像研究会    | 平成 24 年 09 月 01 日 ( )     |
| (6) 福島県消化器研究会     | 平成 24 年 月 日 ( )           |
| (7) 福島県放射線治療技術研究会 | 平成 24 年 月 日 ( )           |
| (8) 福島県放射線管理士部会   |                           |

①緊急被ばく医療活動に関する研修の実施

- ・放射線管理士部会主催による研修会の実施（年1回程度）
- ・(財)原子力安全研究協会や福島県が主催する研修会の参加

②放射線診療や放射線被ばくに関する啓発活動の実施

③各自治体が開催する「健康まつり」への参加

④放射線管理士部会への入会を促進し活性化を図る。

(9) 福島県放射線機器管理士部会（新設）

質の良いX線写真を提供するにはX線撮影装置の精度管理は不可欠である。安全なX線検査装置を維持するためにも、X線撮影における被ばく線量の管理や被ばく線量の低減にも精度管理が実施されていなければ信頼性を失う。年度内に放射線機器管理士部会を立ち上げ、X線撮影装置の精度管理を行う。また、X線撮影装置精度管理の啓発活動も行い、実績不足のため更新できずに放射線機器管理士の資格が停止することの無いように取り組む。

①非接続型の簡易測定器を購入し会員施設に貸し出す。

②X線撮影装置の精度管理の普及活動

③放射線機器管理士の資格更新の啓発活動

以上

## 第5号議案 平成24年度 予算案

### 平成24年度予算案 (収入の部)

平成24年4月1日～平成25年3月31日

勘定科目		予 算	前年度予算	差 額	備 考
款	項 目				
	<b>特定資産運用益</b>	<b>40,000</b>	<b>5,000</b>	<b>35,000</b>	
	特定資産受取利息	40,000	5,000	35,000	
	<b>受取会費</b>	<b>6,660,000</b>	<b>6,660,000</b>	<b>0</b>	
	正会員受取会費	5,850,000	5,850,000	0	* 1
	賛助会員受取会費	810,000	810,000	0	H24年度(24社)
	<b>事業収入</b>	<b>1,200,000</b>	<b>1,450,000</b>	<b>-250,000</b>	
	出版広報事業広告収益	150,000	150,000	0	会報、抄録集広告
	学術研修事業広告収益	400,000	400,000	0	
	研修事業収益	600,000	800,000	-200,000	学術講演会・乳房撮影講習会
	日放技業務委託分担金	50,000	100,000	-50,000	
	<b>受取補助金等</b>	<b>120,000</b>	<b>120,000</b>	<b>0</b>	
	受取福島県助成金	120,000	120,000	0	
	<b>受取寄付金</b>	<b>10,000</b>	<b>10,000</b>	<b>0</b>	
	<b>雑収益</b>	<b>2,000</b>	<b>3,000</b>	<b>-1,000</b>	
	受取利息	1,000	2,000	-1,000	
	雑収入	1,000	1,000	0	
	<b>繰入金</b>	<b>0</b>	<b>10,000</b>	<b>-10,000</b>	
	特定資産振替額	0	10,000	-10,000	減価償却積立金
	<b>当期収入合計(A)</b>	<b>8,032,000</b>	<b>8,258,000</b>	<b>-226,000</b>	
	前期繰越収支差額	4,786,625	5,364,823	-578,198	
	<b>収入合計(B)</b>	<b>12,818,625</b>	<b>13,622,823</b>	<b>-804,198</b>	

\* 1 会 員 622名  
(会費納入義務者585名)  
賛助会員 26社

# 平成24年度 予算案

## 平成24年度予算案 (支出の部)

平成24年4月1日～平成25年3月31日

勘定科目 款項 目	予算	前年度予算	差額	備考
<b>事業費</b>	<b>5,570,000</b>	<b>7,870,000</b>	<b>-2,300,000</b>	
<b>学術研修事業費</b>	<b>2,800,000</b>	<b>3,700,000</b>	<b>-900,000</b>	
学術発表開催費	900,000	1,300,000	-400,000	福島県放射線技師学術大会
生活習慣病従事者講習	1,200,000	1,200,000	0	乳がん検診従事者講習会
学術委員会専門分科会	200,000	500,000	-300,000	分科会助成金
学術研修費	500,000	700,000	-200,000	フレッシューズセミナー等
<b>出版広報事業費</b>	<b>950,000</b>	<b>950,000</b>	<b>0</b>	
会報	500,000	500,000	0	会報48号
ニュース	300,000	300,000	0	放技ニュース131～136号
通信運搬費	150,000	150,000	0	会報・ニュース発送料
<b>啓蒙普及事業費</b>	<b>1,700,000</b>	<b>3,100,000</b>	<b>-1,400,000</b>	
放射線相談コーナー	100,000	500,000	-400,000	健康フェスタ
パンフ・パネル展	100,000	300,000	-200,000	パネル作成
一般講演会	100,000	100,000	0	講演会講師謝礼等
調査指導費	600,000	600,000	0	調査委員会・放射線機器管理士部会
災害教育訓練費	300,000	200,000	100,000	動産保険料・線量計校正等
ホームページ維持費	200,000	600,000	-400,000	インターネット接続料
原子力災害対策費	200,000	600,000	-400,000	原子力災害対策委員会
広報・広告費	100,000	200,000	-100,000	新聞広告等
<b>分担金</b>	<b>120,000</b>	<b>120,000</b>	<b>0</b>	
東北地区技師会	120,000	120,000	0	会員数×200円
<b>管理費</b>	<b>3,550,000</b>	<b>4,200,000</b>	<b>-650,000</b>	
<b>人件費</b>	<b>450,000</b>	<b>500,000</b>	<b>-50,000</b>	
給与	450,000	500,000	-50,000	公認会計費用・臨時雇用費等
<b>福利厚生費</b>	<b>300,000</b>	<b>200,000</b>	<b>100,000</b>	
厚生費	300,000	200,000	100,000	弔電・香典・花環等
<b>会議費</b>	<b>750,000</b>	<b>750,000</b>	<b>0</b>	
総会費	600,000	600,000	0	会場使用料・表彰費等
理事会費	100,000	100,000	0	
委員会費	50,000	50,000	0	
<b>旅費交通費</b>	<b>1,050,000</b>	<b>1,650,000</b>	<b>-600,000</b>	
理事会旅費	500,000	600,000	-100,000	
役員旅費	150,000	250,000	-100,000	
委員会旅費	400,000	800,000	-400,000	
<b>需用費</b>	<b>900,000</b>	<b>1,000,000</b>	<b>-100,000</b>	
事務消耗品費	400,000	300,000	100,000	
通信運搬費	200,000	250,000	-50,000	
什器備品費	200,000	300,000	-100,000	
雑費	100,000	150,000	-50,000	
<b>その他管理費</b>	<b>100,000</b>	<b>100,000</b>	<b>0</b>	
事務所管理費	100,000	100,000	0	
<b>特定預金支出</b>	<b>1,020,000</b>	<b>950,000</b>	<b>70,000</b>	
事務所拡充積立金	1,000,000	800,000	200,000	
学術奨励積立金	10,000	0	10,000	
減価償却積立金	10,000	150,000	-140,000	
学術奨励基金	0	0	0	
<b>予備費</b>	<b>2,678,625</b>	<b>602,823</b>	<b>2,075,802</b>	次年度当初運転資金相当額
<b>当期支出合計 (C)</b>	<b>12,818,625</b>	<b>13,622,823</b>	<b>-804,198</b>	
<b>当期収支差額 (A) - (C)</b>	<b>-4,786,625</b>	<b>-5,364,823</b>	<b>578,198</b>	
当期収入合計 (A)	8,032,000			
前期繰越収支差額	4,786,625		収支差額 (B) - (C)	0
収入合計 (B)	12,818,625			
		単年度収支差額 (A) - (C)		-4,786,625
当期支出合計 (C)	12,818,625			

## 平成24年度積立金予算案

### 事務所拡充積立金（定期預金）

平成24年4月1日～平成25年3月31日

科目	予算	前年度予算	差額	備考
収入の部	¥13,600,000	¥12,577,718	¥1,022,282	
前期繰越収支差額	¥12,600,000	¥11,757,718	¥842,282	
繰出金収入	¥1,000,000	¥800,000	¥200,000	
寄付金収入	¥0	¥0	¥0	
雑収入	¥0	¥20,000	¥20,000	
支出の部	¥0	¥0	¥0	
繰入金支出	¥0	¥0	¥0	
積立金残高	¥13,600,000	¥12,577,718	¥1,022,282	

### 学術奨励金積立金（定期預金）

科目	予算	前年度予算	差額	備考
収入の部	¥2,710,000	¥2,561,855	¥148,145	
前期繰越収支差額	¥2,700,000	¥2,555,855	¥144,145	
繰出金収入	¥10,000	¥0	¥10,000	
寄付金収入	¥0	¥0	¥0	
雑収入	¥0	¥6,000	¥6,000	
支出の部	¥0	¥0	¥0	
繰入金支出	¥0	¥0	¥0	
積立金残高	¥2,710,000	¥2,561,855	¥148,145	

### 減価償却積立金（定期預金）

科目	予算	前年度予算	差額	備考
収入の部	¥730,634	¥1,154,972	¥424,338	
前期繰越収支差額	¥720,634	¥999,972	¥279,338	
繰出金収入	¥10,000	¥150,000	¥140,000	
寄付金収入	¥0	¥0	¥0	
雑収入	¥0	¥5,000	¥5,000	
支出の部	¥0	¥0	¥0	
繰入金支出	¥0	¥0	¥0	
積立金残高	¥730,634	¥1,154,972	¥424,338	

### 学術奨励基金（普通貯金）

科目	予算	前年度予算	差額	備考
収入の部	¥221,368	¥221,524	¥156	
前期繰越収支差額	¥221,368	¥221,324	¥44	
繰出金収入	¥0	¥0	¥0	
寄付金収入	¥0	¥0	¥0	
雑収入	¥0	¥200	¥200	
支出の部	¥0	¥0	¥0	
繰入金支出	¥0	¥0	¥0	
積立金残高	¥221,368	¥221,524	¥156	

第6号議案 その他

一、名誉会員の推戴

二、その他